

家族と触れ合う時間を大切にしましょう
(3面で市の子育て支援サービスを紹介)。



編集・発行／厚木市政策部広報戦略課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951
www.city.atsugi.kanagawa.jp



届けたい 畳のぬくもり

腕が震えるほどの強い力で厚さ10センチの畳に縫い針を刺し通す木下さん

「5日で5000枚の約束。」プロジェクト



市内にある2畳店と協定を締結

プロジェクトでは、昨年豪雨災害で被災した北関東をはじめ、全国の被災地に約7000枚の畳を提供してきました。

現在、全国338の畳店が参加。災害の発生から5日間で5000枚の畳を避難所に届ける協定を全国の自治体と結んでいます。

図危機管理課 ☎25-21900

「5日で5000枚の約束。」プロジェクト実行委員会と協定を締結(左欄参照)。避難所生活が少しでも快適になるよう、災害発生時に全国の畳店から無償で提供される。「避難所でも真新しい畳の上で、好きなように座り、寝転び、少しでもゆっくりと過ごしてほしい」と話す木下さん。畳のぬくもりを届けるため、日夜畳作りに打ち込んでいる。

分 厚い畳の裏から縫い針をゆっくりと押し上げると、糸の摩擦音を残し一気に引き抜く。根気と力の要る作業を繰り返す。畳表と畳縁を丁寧に縫い合わせていく。ここは、い草の香りが漂う三田の畳工場。機械化が進む中、職人たちが素材の良さを引き出せる手縫いの技術を受け継いでいる。

畳は断熱性と保温性に優れ、夏は涼しく冬は暖かい。抗菌や湿度調整のほか、防音効果やリラックス効果もある。職人歴15年の木下忠之さん(41)は「畳は心地よい感触や香りで、古くから日本人に愛されてきた。時代の流れとともに和室が減ってしまっているが、畳の上では誰もがくつろぎを感じられるはず」と力を込める。

市は3月、全国の畳製造業者らでつくる「5日で5000枚の約束。」プロジェクト実行委員会と協定を締結(左欄参照)。避難所生活が少しでも快適になるよう、災害発生時に全国の畳店から無償で提供される。「避難所でも真新しい畳の上で、好きなように座り、寝転び、少しでもゆっくりと過ごしてほしい」と話す木下さん。畳のぬくもりを届けるため、日夜畳作りに打ち込んでいる。

目次	2面 福祉の悩み、気軽に相談を 地域福祉の重要な担い手として活動する民生委員・児童委員。一人で悩んだときは気軽にご相談ください。	3面 妊娠から子育てまでを継続支援 妊娠から出産、子育てまでを不安なく楽しめるよう、充実させている市の相談事業を紹介します。	4・5面 市民協働で住みよい地域に 市民協働事業提案制度から生まれた住民の交流拠点「Tobioギャラリー」。開設までの活動を追い掛けました。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
----	---	---	---	---

こちらから



何気ない会話を重ね信頼関係を築いていく民生委員の竹原さん(左)

トピック
地域福祉

地域を支える民生委員・児童委員 福祉の悩み、気軽に相談を

民生委員・児童委員は、地域での安心した暮らしを支える相談役です。子育てや介護、障がいなどさまざまな福祉の問題について、相談者に寄り添います。市では、民生委員・児童委員と連携し、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

相談者の目線で考える

市内では、297人（平成28年4月1日現在）の民生委員が地域福祉の重要な担い手として活動しています。全ての民生委員は、子どもたちが安心して生活できるように見守り、支援をする児童委員を兼務。住民の立場に立って相談に応じ、行政や専門機関とのパイプ役になるなど、地域での暮らしを支えています。

民生委員は、独り身の高齢者や障がい者、生活保護受給者など、さまざまな悩みを抱える住民の方から相談を受けます。依知北地区の民生委員として活動を続ける竹原由美恵さん（64）は、こととして15年目。相談者に寄り添い、異変を感じたときには声掛けをするなどして、地域住民との信頼関係を築いています。「悩みを打ち明けてもらうには、まず相手から信頼を得ることが必要。相談者と同じ目線で考えることを心掛けています」と話します。

地域に住む幅広い年代の方と接し、多様な相談を受ける竹原さん。常にアンテナを張り、相談者の実情に合わせ活動を行っています。12年になる緑ヶ丘地区の主任児童委員・太田紀子さん（53）は「主任児童委員は保護者や子どもと、学校、児童相談所などの橋渡しを担うコーディネーター。子どもたちの成長を間近で感じることが何よりの喜びです」と話します。地域のイベントに積極的に参加し、たくさんの子どものたちと触れ合うことが、ちょっとした異変に気付くきっかけになることもあります。「学校や行政では気付くにくい、ほんの少しの変化にいち早く気付く、問題が大きくなる前に動き出すこと

近くで見守り変化に気付く

たきめ細かいサポートに努めています。



子どもと触れ合いながら成長を見守る主任児童委員の太田さん(右)

が、主任児童委員の一番重要な役割」と太田さんは力を込めます。

生き生きと暮らせる社会に

少子高齢化や核家族化が急速に進む中、独り身の高齢者や障がい者、子育てに悩みを抱える保護者が孤立してしまいうケースが増えています。助けを求め小さな声を聞き、一番身近な相談役として活躍する民生委員・児童委員の存在が、重要になっています。福祉に関する悩みは、近くの民生委員・児童委員に相談してください（下欄参照）。

市では、医療や介護、住宅、生活支援などのサービスを一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを進めています。その実現に重要な役割を担う民生委員・児童委員と連携し、誰もが住み慣れた地域でいつまでも生き生きと暮らし続けられる社会を目指します。

5月12日は民生委員・児童委員の日

一人で悩んだときは 近くの民生委員・児童委員へ

「子育てがうまくできるか不安」「隣の子の様子最近おかしい」「福祉手当を受けたいけどどうしたらいいのか分からない」など、誰にも相談できずに悩んでいることはありませんか。そんなときは民生委員・児童委員へ相談しましょう。民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談内容が漏れることはありません。

お住まいの地区の担当委員は、福祉総務課☎225-2200へお問い合わせください。



ひとまち元気



分署前で大矢村長(右)、黒岩知事と

厚木市長
小林常良

厚木市北消防署清川分署。厚木市の消防署がなぜ清川村にと、疑問に思う方もいらっしゃるかもしれません。4月にオープンした清川分署は、村が国や県から補助を受けて建設した消防庁舎です。配備された消防隊の面々

は、市の消防隊員。つまり市の職員です。これまで、村には消防署がありませんでした。火事や災害の初期対応には村民で組織する消防団が当たり、救急業務は近隣市町で対応していました。そこで、市は村から消防事務を受託し、消防広域化がスタート。市の消防隊員が分署に常駐することで、村の念願だった常備消防が実現しました。

同時に七沢や飯山など村に近い市内地域では、現場到着が短縮されます。119番通報を迅速に処理できる「高性能消防指令センター」、他の通信と混信なく確実に情報伝達ができる「デジタル無線」も、村と資金を負担し合って整備することができました。

人の命に地域は関係ありません。市民の生命と財産はもちろん、村と連携しながら厚木・清川の安心・安全をしっかり守ってまいります。

福祉総務課 ☎225-2200

子育てトピック

育児の悩み、気軽に相談を

妊娠から子育てまでを継続支援

子どもたちの健やかな成長のためには、保護者が不安を抱くことなく、育児を楽しめる環境が欠かせません。市では、妊娠から出産、子育て中の生活を安心して送れるよう、子育て世帯に寄り添った相談体制を充実させています。

初めての子育てには、誰でも悩みや不安がつきものです。核家族化や都市化が進み、そうした気持ちを誰にも相談できないまま、一人で抱え込んでしまふ方もいます。市では、誰もが安心して子育てができるよう、気軽に相談できる環境を整えています。

子育てサロンで保育士に相談

子育て支援センター「もみじの手」は、育児の相談や保護者同士の情報交換、友達づくりなど、子育て世帯の交流の拠点として毎日たくさん親子連れでにぎわいます。平成26年に、アミューあつぎ8階に県内最大規模でリニューアルオープンして以来、利用者は毎日



保育士と気軽に話ができる子育てサロン

平均300人上っています。

センターには、0歳から小学校就学前までの子どもが遊べる、人気の子育てサロンがあります。サロンには常に保育士がいるため、子どもを遊ばせながら子育てに関するちょっとした疑問や不安について気軽に相談できます。

2歳2カ月の息子と来所していた加藤由加里さん(30歳代・栄町)は「離乳食を始めたころ、思うように食べずに困っていたが、保育士さんから食べやすいメニューを教えてもらった。子どもの成長で戸惑ったときも、『そういう時期もあるよ』と言ってもらえて安心した」と振り返ります。

サロンの利用は無料で、授乳や食事、遊び方など、育児に関するどんな相談でも受け付けています。ゆっくり相談をしたい場合は、事前に予約をすることもできます。

母子保健コーディネーターを新設

妊婦の方が安心して出産や子育てができるように、市では4月から、助産師の資格を持つ「母子保健コーディネーター」を配置しました。母子健康手帳の交付時に、コーディネーターが妊婦一人一人と面談し健康状態などを聞き取ります。面接や電話、家庭訪問を通じて妊婦の方に寄り添い、出産に向けたき



母子健康手帳交付時に健康状態を聞き取り

め細やかなサポートをします。出産後は、赤ちゃんの成長の確認や産後の体調などについてアドバイス。「母乳を上手に飲めていない」「赤ちゃんが泣きやまない」などの相談に応じ、必要があれば医療機関とも連携します。

子どもたちの明るい未来のために

市では、相談体制のほか、さまざまな支援を充実させています(下欄参照)。5月はみんなで子どもの未来を考える「あつぎ子ども月間」、毎月第3水曜は「あつぎ家庭の日」です。子どもたちがすくすくと元気に成長していけるよう、市の支援制度を有効活用し、子育てを楽しみましょう。

上手に使って、楽しく子育て 市の子育て支援制度

市では子育て環境日本一を目指し、充実したサービスで子育て世帯を応援しています。

子ども医療費助成

赤ちゃんから中学生までの健康保険適用医療費の自己負担額を助成します。

紙おむつなどを支給

2人目以降の子どもを育てる家庭に支給。2人目は申請翌月から12カ月、3人目以降は2歳になる月までサポートします。

子育てコンシェルジュAKC

子育てに関する悩みの相談役として保育士や保健師など100人が活躍中。市の子育て支援サービスの案内などもします。

幼稚園送迎ステーション

アミューあつぎ内に設置した託児室「わたぐも」で、朝・夕に園児を預かり各幼稚園へバスで送迎します。

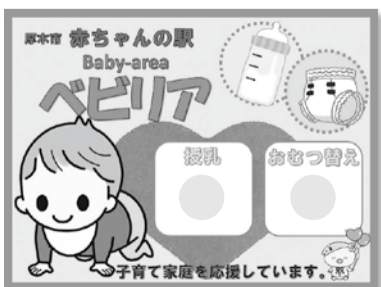
赤ちゃんの駅「ベビリア」

おむつ替えや授乳のできる施設にステッカーを貼っています。現在約140施設が登録。スマートフォン向けアプリ「ベビ★マ」で検索もできます。

他にも、たくさんの支援サービスがあります。詳しくは、こども育成課や子育て支援センターなどにある子育てガイド「おおくくなあ〜れ」をご覧ください。



託児室が幼稚園への中継場所に



施設によってミルクのお湯の提供も

親子で楽しくものづくり

第19回 少年少女フェスティバル



「あつぎ子ども月間」にちなみ、おもちゃづくりを通して親子の絆を深め、ものづくりの楽しさを学べるイベントを開催します。ぜひ、お越しください。

無料

日時 5月15日(日) 11時~16時
会場 アミューあつぎ8階 屋内広場Sola など

- 空気砲
- 紙バック工作
- 紙ブーメラン
- 万華鏡
- ゴリゴリプロペラ
- 竹笛
- 輪ゴム鉄砲
- 風車
- 登るあゆコロちゃん
- 水鉄砲
- 紙工房
- スーパー竹とんぼ
- プラトンボ
- ジェット機 など



工作に夢中になる子どもたち

当日直接会場へ。
青少年課 ☎225-2580

市民協働で住みよい地域に

笑顔あふれる

手作りの たまり場



「この地域には元気があふれる高齢者という資源がある」。65歳以上の高齢者が35%を占める鳶尾の団地内に、住民の交流拠点をつくり出した人たちがいる。身の回りにある課題の解決に取り組み、地域と自らの人生をより豊かなものにしようとする彼らの活動を追った。



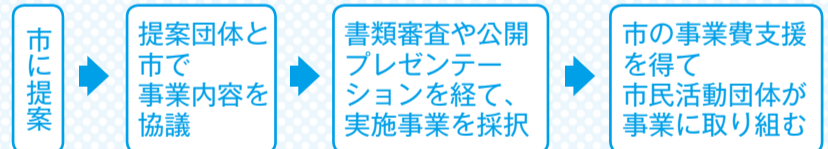
市民協働事業提案制度

あつき 元気Wave

CATV5/1~放送

市民協働事業を紹介

地域が抱える課題の解決や市民サービスの向上を目指し、市民活動団体と市が協力して事業を実施する制度です。団体が自ら企画を提案する「市民提案型」と、市が提示したテーマや計画などを基に団体が企画する「行政提案型」があります。



事例1 地域住民の利便性を高めるコミュニティバス [平成23~25年] 森の里地域住民乗合交通(森の里ぐるっと)



森の里を循環する乗り合いバスは、住民の移動をより便利にしようと、現「一般社団法人厚木ぐるっと」が提案。3年間の事業期間終了後も活動は継続され、現在も週に3日、1日8便が運行されています。住民同士の交流や地域の安全確認など、多くの効果を生み出しています。

事例2 子どもたちの健康と豊かな心を育む [平成28年~] 女子プロ野球選手によるティーボール指導



台上のボールを打つティーボール

子どもたちの体力や他者との協調性を育もうと、「NPO法人日本ティーボール協会神奈川県連盟」が昨年提案。市が選手への謝礼や道具代などを負担し、女子プロ野球チーム「埼玉アストライア」の選手が、小学校の体育の授業で「ティーボール」を指導します。

詳細は [厚木市 市民協働事業提案制度](#) [検索](#)

高齢者の有り余るパワーを地域のために生かしたい

鳶尾団地は、UR都市機構が開発した郊外型の大規模住宅団地だ。入居から40年近くたった今、高齢化の進行や住民の減少、空き家・空き店舗の増加などの問題に直面し、地域の活力低下につながっている。

「この地域には、さまざまな社会経験を積んできた元気な高齢者がたくさんいる。その有り余るパワーを地域のために生かせないか、仲間と考えてきたんだ。そう話すのは、ギャラリーを運営する市民活動団体「コミュニティカフェ 萩野」の事務局長・岩崎正昭さん(72・みはる野)。平成24年に会を立ち上げ、定年退職をしたメンバー23人と、地域の課題や未来について語り合ってきた。時を同じく、飯山にキャンパスを持つ



楽しみながら自分たちの手でつくったギャラリー

ギャラリーを常設化する上で、最も大きな問題は活動費用だ。岩崎さんは森の里に住んでいた時に、地域の乗り合いバスの運行(右下欄参照)を、事

業費の支援を得られる市民協働事業提案制度を利用して実現させた経験があった。「この制度は団体が目指す理想の実現を後押ししてくれる」という思いから、昨年にギャラリー運営の企画を提案。公開プレゼンテーションを経て審査に合格すると、大学からの支援金と自己資金を活用し9月から空店舗の改装に取り掛かった。設計は、ログハウスを建てたことのあるメンバーが担当。業者には頼まず、他のメンバーが塗装などを分担し、全ての作業を自らの手で手掛けた。大学も、展示する写真パネルやテーブル、冷蔵庫・エアコンなどの提供、設計への助言などで支援してくれた。コンク

元気な高齢者が輝ける場所と仕組みをつくりたい

4月1日、ギャラリーは正式なオープンを迎えた。岩崎さんは「口コミなどでギャラリーの存在が浸透し訪れる人も増えている。これからはもっと多くの住民ニーズに応えたい」と意気込む。高齢化が進む以上、何をすればいいか、人手が不足する時代。自宅の草刈りをはじめ、電球の取り換えや墓参りへの送迎など、ギャラリーには住民のちょっとした相談が寄せられる。市民活動団体としてできることを見極めながら、行政が対応しきれない細かい個人のニーズに応えていくつもりだ。

「メンバートにとってここでは、山も川もある自然豊かな愛着のある土地。そんな大好きな地域のために行動する高齢者が輝く場所づくり、仕組みづくりが今の時代には大切となる。少しずつ身の周りの問題を解決し、明るい地域にできれば」と岩崎さんは先を見据える。ギャラリーに花咲く笑顔がいつか地域全体にも広がるように。香り豊かなコーヒーを飲みながら、仲間と地域の未来を見つめている。市民協働推進課 ☎25-2141



①5カ月かけてギャラリーを改装②プレオープンであいさつをする岩崎さん③鮮やかな作品が飾られた明るいギャラリー④写真パネルや格子状の棚がおしゃれな雰囲気を演出⑤メンバーの平均年齢は約70歳。チームワークも良好⑥ギャラリー前の鉢への水やりが毎日の日課⑦仲間とおしゃべりを楽しむ住民にコーヒーを提供



市民協働事業提案制度の企画提案を募集

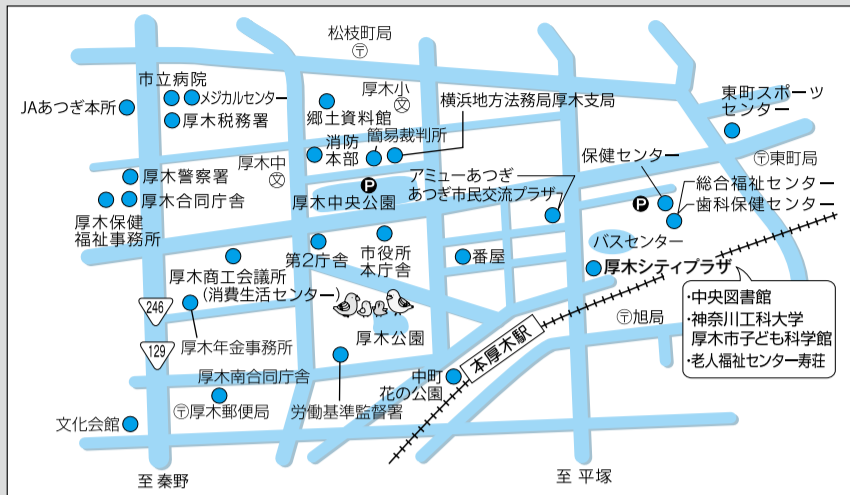
市と一緒に、地域の課題解決や暮らしやすいまちづくりに取り組みませんか。
【対象】①活動拠点が市内②代表者を含み3人以上の役員を置き、構成員が市民5人以上③会則があり、適正な会計処理をしている一の全てを満たす団体

市民活動推進補助金の申請団体を募集

公益的な活動をする団体に、事業費の一部を補助します。
【対象】①市民が自発的、自立的に活動②不特定多数の市民の利益増進が目的③市内に主たる事務所または活動拠点がある④次年度以降も継続して活動する見込み⑤構成員が3人以上一の全てを満たす団体(一団体一事業につき3回まで)
【補助金額】補助対象経費から収入を控除した額の2分の1(上限20万円)

市民協働推進課や公民館などにある申請書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、企画提案は5月20日、補助金は6月30日までに直接、市民協働推進課へ。

タウンガイド



5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

マイタウンクラブ
 〇印の番号で、ウェブ上から詳しい情報がご覧になれます。「〇印」と記されたものは、申し込みもできます。
www.mytownclub.com
 [携帯電話は末尾に/cpを]
 市役所への郵便物は「〒243-8511 厚木市役所〇〇課」で届きます。

あつぎ青春劇場

①5月21日、15時～16時。唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・宮川たかし）②5月28日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会（出演・柳亭市童）

いずれも会場はアミューあつぎ9階。定員100人。500円。①当日直接会場へ。先着順。②商業にぎわい課☎225-2834。

第1回 天体観測会～火星～

6月10日、19時～21時。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。天体望遠鏡で火星を観察。小学生以上の方40人（中学生以下は保護者同伴）。無料。①直接、電話またはファクスに催し名、〒住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、電話番号を書き、5月26日までに七沢自然ふれあいセンター☎248-3500・FAX248-4708へ。抽選。〇印☎152913

スポーツなじみDAY

5月14日、10時～15時30分。荻野運動公園（中荻野1500）。気軽

に楽しめるニュースポーツを紹介。《種目》屋内＝バウンスポール、キンボール、ドッチビー、カーレット、ビーチボール、体力チェックコーナーなど。室内履きをお持ちください。屋外＝ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフなど（雨天時は屋内種目のみ）。無料。①当日直接会場へ。②スポーツ政策課☎225-2531。

市立病院「看護の日」記念行事

5月12日の「看護の日」を記念した催しを実施します。《内容》5月11日＝ワゴンティサービス（入院患者対象）。5月12日＝記念給食（入院患者対象）。5月13日＝ロビーコンサート。各セクションを紹介する写真展も開催。③経営管理課☎221-1570。

健康あつぎ推進リーダーの健康講座

5月26日、10時～11時30分。厚木南公民館（旭町3-14-4）。歌によるストレス解消と口の健康体操、

ウォーキングの楽しみ方を学ぶ。定員30人。無料。④5月2日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。

まとめて学べる健康セミナー

5月23日、14時～15時30分。厚木北公民館（元町9-4）。保健師によるゲートキーパー（命の門番）の養成講座と高血圧セミナー。定員30人。無料。④5月2日から健康づくり課☎225-2201へ。先着順。

リフレクソロジー体験講座

6月18日、14時～16時。あつぎ市民交流プラザ。オイルを使った足裏マッサージを学ぶ。市内在住に勤の方15人。2200円（材料費など）。④電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、5月10日までに勤労者福祉サービスセンター☎206-4151・FAX206-4611へ。抽選。

伝統文化親子教室を開講

①日舞子ども教室＝5月28日、6月4・18日、7月2・16・30日、8月5・12・27日、9月3・17日、10月1・15・23日、11月5・19日、12月3・17日、平成29年1月7・21日、2月25日、3月5日（全22回）。あつぎ市民交流プラザ。定員15人。1回500円②遊花子ども茶道生け花教室（華道）＝5月22日、6月26日、7月24日、8月28日、9月25日、10月16・23・24日、11月20日、12月18日、平成29年1月22日、2月25・26日（全13回）。南毛利学習支援センター（長谷1094-1）。定員20人。1回700円③遊花子ども茶道生け花教室（茶道）＝5月8日、6月5日、7月3日、8月7日、9月4日、10月2日、11月6日、12月4日、平成29年1月15日（全9回）。南毛利公民館（温水西1-17-1）。定員15人。1回500円。④5月20日（茶道は6日）までに電話で①土井☎080-5067-3855②③竹下☎090-9847-0702へ。先着順。⑤文化生涯学習課☎225-2508。

体育協会のスポーツ教室

◆ソフトバレーボール教室
 6月4・11・18日（全3回）、18時30分～20時30分。南毛利スポーツ

センター（温水西1-27-1）。市内在住に勤在学で小学生以上の方20人。1000円。〇印☎152897

◆初級・中級バドミントン教室

6月7・10・14・17・21日（全5回）、19時～21時。南毛利スポーツセンター。市内在住に勤在学の方30人（児童・生徒を除く）。2000円。〇印☎152898

◆少林寺拳法教室

6月11・18日（全2回）、9時30分～11時30分。東町スポーツセンター。市内在住に勤在学の小学生以上の方20人。800円。〇印☎152899

◆第1回ジュニアソフトテニス教室

6月11・18・25日、7月2日（全4回）。10時～12時。南毛利スポーツセンター。市内在住に勤在学の小学生80人。1000円。〇印☎152900

◆初級・中級ゲートボール教室

6月13・14・15日（全3回）、9時～12時。金田ゲートボール場（金田860）。市内在住に勤在学の方20人（児童・生徒を除く）。1000円。〇印☎152901

いずれも内容は基礎技術の講習。⑥ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号を書き、5月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247-7212・FAX248-7151へ。抽選。

スーパーエンジョイタイム～お庭で遊ぼう～

5月29日、10時～11時30分（雨天中止）。厚木保育所（中町1-3-3）。親子で運動遊びを楽しむ。市内在住の2歳以上の未就学児と保護者20組。無料。④5月20日までに子育て支援センター☎225-2922へ。抽選。〇印☎152878

市職員を募集

《1次試験日》5月29日《職種・採用人数》土木上級＝10人程度、建築上級・建築機械上級＝各若干名《対象》昭和56年4月2日～平成7年4月1日に生まれた方。④市ホームページの入力フォームから応募するか職員課、市役所本庁舎1階案内、本厚木・愛甲石田駅連絡所などで配布している申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要な事

街の話題

恩曾川に揚がる200匹のこいのぼり 地域住民らの手で親水広場に設置

温水の地蔵橋親水広場にこいのぼりが飾られ、道行く人の目を楽しませています。設置したのは「恩曾川をきれいにする会」の皆さんです。集合住宅が増えたり子どもが大きくなったりして、家庭で飾られなくなったこいのぼりを地域で募りました。



半日に及んだ設置作業

広場は、地域住民の散歩道として親しまれている場所。会長の関口正昭さん（74・温水西）は「きれいに見えるよう配置にもこだわって飾った。親水広場なので、これを機に遊びに来て、川や緑にも触れ合ってもらえればうれしい」と笑顔を見せていました。

こいのぼりが見られるのは5月9日まで。森の里にある若宮公園でも、5日まで設置されています。子どもたちの成長を願う伝統的な文化行事を楽しみに、足を運んでみてはいかがでしょうか。☎南毛利公民館☎248-4309

色とりどりのバラと楽しいイベントが盛りだくさん

第3回 相模川ローズガーデンフェスティバル



今回は、みなみ大通りを一部歩行者天国（14日、12時～15時）にして阿波踊りのパレードを実施します。

日時 5月14日 13時～（雨天の場合は15日に順延）

会場 相模川ローズガーデン

内容 阿波おどりパレード*、バラの育て方教室*、フラダンス、ミニコンサートなど
 ※印は順延の場合中止



☎県央経営者会☎296-7010

項を書き、直接（土・日曜は除く）または郵送で5月13日（消印有効）までに〒243-8511職員課 ☎225-2070へ。

フレイル（虚弱） 予防サポーターを募集

《対象》市内在住の65歳以上で、6月2・14日（全2回）の研修と7月・平成29年2月のフレイル予防チェック事業に参加できる方20人《内容》フレイル（加齢により筋力や心身の活力が低下した状態）チェックにおける測定や運営補助《報酬》なし。☎健康長寿課または各地域包括支援センターにある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで5月20日（必着）までに〒243-8511健康長寿課 ☎225-2388・☎221-1640・e-mail=2000@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

栄養士（嘱託員・臨時職員）を募集

《対象》管理栄養士の資格を持ち、母子保健事業に携わった経験がある方《人数》嘱託員＝若干名。臨時職員＝1人《内容》幼児健康診査や乳幼児健康相談での栄養相談、両親学級や離乳食講習会などの運営《期間》平成29年3月まで（延長あり）《時間》嘱託員＝1回4時間程度。臨時職員＝8時30分～17時15分《給与》嘱託員＝1回6000円。臨時職員＝月額21万3700円。☎市販の履歴書に写真を貼り、直接健康づくり課 ☎225-2597へ。書類選考・面接あり。

小学校特別支援教育介助員（看護師）の登録者を募集

《内容》障がいのある児童・生徒の食事・身辺・移動の介助、安全確認など《対象》看護師の資格を持つ方で、心身共に健康で特別支援教育に理解のある方《勤務日数》年間100日以内（週3日程度）《時間》8時30分～15時45分《賃金》時給1400円。☎電話連絡の上、市販の履歴書に写真を貼り直接、学校教育課 ☎225-2675へ。書類選考・面接あり。

耐震改修促進計画の一部を改定

市内の防災上重要な道路を、沿道建築物の耐震診断を義務化する道路に指定するため、耐震改修促進計画の一部改定しました。内容は市ホームページでご確認ください。☎建築指導課 ☎225-2431。

都市計画案の縦覧と意見書を受け付け

「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」や「区域区分（市街化区域と市街化調整区域との区分）」など、第7回線引き見直しに関する都市計画の変更案を縦覧し、意見書を受け付けます。

《期間》5月13日～27日（土・日曜を除く）、8時30分～17時15分《縦覧場所》都市計画課。県決定案件のみ県都市計画課（横浜市）《意見提出対象》市内在住または変更案に利害関係のある方《意見書提出》都市計画課にある意見書に必要事項を書き、直接または郵送で5月27日（必着）までに〒243-8511都市計画課 ☎225-2400または〒231-8588県都市計画課 ☎045-210-6175へ。

公共施設最適化検討委員を募集

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②他の付属機関の委員でない③市の議員・職員でない④平日昼間の会議（5回程度）に出席できる一の全てを満たす方1人《任期》平成30年3月31日まで《報酬》1日7800円（交通費含む）。☎企画政策課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項と応募動機（400字程度）を書き、直接または郵送、Eメールで5月15日（必着）までに〒243-8511企画政策課 ☎225-2450・e-mail=1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

「第70回あつぎ鮎まつり」 キャッチフレーズを募集

《応募規定》①17字以内（記号含む）②オリジナルで未発表③応募は1人2点以内④最優秀賞作品は、

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ
あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分)

5月の広報番組ガイド

5月1日～15日 ◆市民協働で住みよい地域に
市民協働事業提案制度から生まれた市民活動を紹介

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

講習会の受講で購入費の一部を補助 幼児2人同乗用自転車の購入費を助成

幼児2人を同乗させるために安全性に配慮した専用自転車「幼児2人同乗用自転車」の購入費を一部助成します。

《助成額》購入費の2分の1(限度額1万6000円)

《対象》平成28年1月1日時点で市に住民登録があり、6歳未満の幼児を2人以上養育している方

《講習会日程》

①6月12日 ②6月18日、10時～11時30分(受け付けは9時45分～)。厚木小学校体育館。

※印鑑と体育館履きを持参してください。

☎電話またはファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号、講習会の日程、参加する子どもの氏名と年齢、人数を書き、5月31日までに交通安全課 ☎☎221-0260・Eメール3400@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

☎交通安全課 ☎225-2760



5月1日～31日は
自転車マナーアップ強化月間

- ・自転車交通ルールを守り、マナー向上を心掛けましょう。
- ・定期的に自転車を点検整備しましょう。
- ・損害賠償保険に加入しましょう。

ポスターやチラシなどに掲載⑤入賞作品の著作権は市に帰属《賞》最優秀賞1点（商品券5千円分）、優秀賞2点（商品券3千円分）。☎直接またはハガキ、ファクス、Eメールにキャッチフレーズと〒住所、氏名、電話番号を書き、5月8日（必着）までに〒243-8511観光振興課 ☎225-2820・☎223-0174・e-mail=3850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

日本赤十字社の活動費に協力

日本赤十字社の活動は、皆さんの寄付により運営されています。5月は赤十字社員増強運動月間です。自治会を通じて寄付をお願いしますので、ご協力ください。平成27年度の市内の赤十字社員増強運動社資総額は1674万6184円でした。ご協力ありがとうございます

た。☎日本赤十字社神奈川県支部厚木市地区事務局（福祉総務課内）☎225-2200。

相続・不動産無料相談会

5月25日、13時～17時。あつぎ市民交流プラザ。弁護士、司法書士、税理士など専門家による個別相談、賃貸経営や相続・事業承継などの相談（要予約）。無料。☎日本地主家主協会 ☎03-3320-6281。

あつぎ健康相談ダイヤル24

24時間年中無休

相談（健康・医療・介護・育児・メンタルヘルス）・医療機関情報（救急含む）

さわやか1番 よいこころ
0120-31-4156

医療機関を受診する前に電話で相談を
◎発信者番号は通知設定でおかけください

里山保全ボランティアを募集



地域の皆さんと一緒に田植えや稲刈り、棚田の保全などをしていただく方を募集します。

《活動日》月1回（1年間）
《場所》①七沢地区 ②荻野地区
《対象》市内在住在勤在学の方

☎電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号、希望地区を書き、5月15日までに環境政策課 ☎223-1668へ。

☎①162005 ②162006

☎環境政策課 ☎225-2746

トマトがおいしい季節になりました

夕焼け市



毎週水曜日、市内産の安心安全な農産物や加工品などを販売します。

《日時》5月4・11・18・25日
17時～（60分程度）

《場所》荻野運動公園（中荻野1500）

☎農業政策課 ☎225-2801

インターネットモニターからの意見を紹介

ホットいメール

Hot E Mail

4月1日号「広報あつぎ」を読んで
◆清川分署ができたことで、消防・救急の対応がより迅速になることを期待している／70代男性・鳶尾◆小中学校で冷暖房完備を進めるのであれば、今後1校ずつ、太陽エネルギーへの切り替えを検討してほしい／50代女性・松枝◆いきものがかりの活躍に触れて、彼らに続く若者たちが夢の実現に向けて歩んでほしい／50代男性・栄町◆市民リポーターの方にいろいろな場所を案内してもらいたい／40代女性・妻田東

厚木市 インターネットモニター結果 検索



第42回

厚木市緑のまつり

一人一人の行動が 緑を増やす きっかけに

花と緑あふれる住みよいまちになるようにとの願いを込めて開催し、ことしで42回目を迎えます。会場いっぱいにあふれる色とりどりの花と緑に癒やされてみてはいかがでしょうか。

日時 **5月14日(土)・15日(日)** (雨天実施)
10時～16時



厚木中央公園

- 花と緑のステージ (ダンス・楽器演奏など)
- 植木市、草花や野菜の苗の販売、スタンプラリー、木工教室、各団体出展コーナーなど
- 緑に親しもう教室《14日》コケ玉教室=①11時～②14時～。各回20人。100円。小品盆栽教室=①11時～②13時30分～。各回15人。1500円。多肉植物教室=①11時30分～②14時30分～。各回10人。700円。《15日》押し花教室=①11時～②14時～。各回20人。100円。ギャザリング寄せ植え教室=①11時30分～②14時

30分～。各回6人。1300円。

☎5月1日～13日に電話で公園緑地課へ。先着順。

- 動物戦隊ジュウオウジャーショー※15日のみ
①10時30分～②14時50分～

厚木公園

- サツキの展示会、サツキ盆栽の即売、相談コーナー、サツキ苗無料配布(13時～、先着120人)、骨董市

市役所西側駐車場 ※15日のみ (雨天中止)

- ふれあい動物村(ウサギ、アヒル、ヤギなど)、ふわふわドーム



問公園緑地課 ☎225-2412

あつぎ市民芸術文化祭「市民芸術祭」

さあ、みんなで歌おう!

あつぎ市民合唱団員募集

2年に一度の合唱公演。オーケストラと共演し、あなたの歌声を文化会館の大ホールに響かせてみませんか。未経験者にも丁寧に指導しますので、気軽にご参加ください。

12月11日
14時開演(予定)
会場:文化会館



- 曲目** ヘンデル作曲「メサイア」
- 出演** 松村秀明(指揮)、宍戸純(合唱指導)、厚木交響楽団(オーケストラ)、あつぎ市民合唱団
- 対象** 市内在住在勤在学で休まず練習に参加できる小学5年生以上の方 160人程度(男性60人、女性100人) ※男性は市外在住も可
- 参加費** 3000円
- 練習日** 7月～12月の土・日曜、13時～17時(18回程度)
※初心者は5回程度の特別練習あり(6・7月の土曜)

- 練習場所** あつぎ市民交流プラザほか
- 結団式** 7月10日、文化会館
※公演の受け付けや舞台裏の仕事などの運営ボランティアを同時募集します。詳細はお問い合わせください。
- ☎文化生涯学習課や公民館などにある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、5月11日から直接または郵送で〒243-8511文化生涯学習課へ。先着順。

問文化生涯学習課 ☎225-2508

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1804へ。